

## ● JIS G3444

**●適用範囲** 土木、建築、鉄塔、足場、杭、支柱、その他の構造物に使用する炭素鋼管。

**●製造方法** 電気抵抗溶接  
アーク溶接

### ■ 化学成分

種類	化 学 成 分 (%)				
	C	Si	Mn	P	S
STK400	0.25以下	——	——	0.040以下	0.040以下
STK490	0.18以下	0.55以下	1.65以下	0.035以下	0.035以下

### ■ 機械的性質

種類の記号	引 張 試 験			曲げ試験		へん平試験	溶接部引張試験	
	継目無、鍛接、電気抵抗溶接、アーク溶接			継目無、鍛接、電気抵抗溶接		継目無、鍛接、電気抵抗溶接	アーケ溶接	
	全外径	全外径	40mmを超えるもの	50mm以下		全外径	350mmを超えるもの	
	引張強さ (N/mm <sup>2</sup> )	降伏点 又は耐力 (N/mm <sup>2</sup> )	伸び (%)	曲げ角度	内側半径 (Dは管の外径)	平板間の距離 (H) (Dは管の外径)	引張強さ (N/mm <sup>2</sup> )	
STK400			11号試験片 12号試験片					
STK490			5号試験片					
			縦方向		横方向			
STK400	400以上	235以上	23以上	18以上	90°	6D	2/3D	400以上
STK490	490以上	315以上	23以上	18以上	90°	6D	7/8D	490以上

### ■ 外径の許容差

区分	許容差	
1号	50mm未満	±0.5mm
	50mm以上	±1%
2号	50mm未満	±0.25mm
	50mm以上	±0.5%

#### 【備考】

- 熱間仕上継目無钢管の外径の許容差は、1号を適用する。
- 外径350mmを超える電気抵抗溶接钢管及びアーク溶接钢管の外径許容差は左表の1号とし、管端部の外径許容差は±0.5%とする。
- 外径350mmを超える管の外径測定方法は周長によることができる。

### ■ 厚さの許容差

区分	継目無钢管の場合		継目無钢管以外の場合		適用区分
	厚さ	厚さの許容差	厚さ	厚さの許容差	
1号	4mm未満	+0.6mm -0.5mm	4mm未満	+0.6mm -0.5mm	特に指定がない場合。 なお、熱間仕上継目無钢管に適用する。
	4mm以上	+15% -12.5%	4mm以上	+15%	
			12mm未満	-12.5%	
			12mm以上	+15% -1.5mm	
2号	3mm未満	±0.3mm	3mm未満	±0.3mm	特に指定がある場合。 ただし、熱間仕上継目無钢管には適用しない。
	3mm以上	±10%	3mm以上	±10%	
			12mm未満	+10% -1.2mm	
			12mm以上	+10% -1.2mm	

#### 【備考】

- 熱間仕上継目無钢管の厚さの許容差は、1号を適用する。
- 外径1016.0mmを超える管の厚さの許容差は注文者と製造業者との協定によることができる。